

研修コーディネーターネットワーク報告書

テーマ：「NLP（神経言語プログラミング）を用いた人材育成」

～「自分を知る、他人を知る」と何が起きるのか？～

最強のコミュニケーションスキルと呼ばれている「NLP（神経言語プログラミング）」。
前半の1時間でNLPとは何かを演習をふまえて学び、後半の1時間で研修コーディネーターネットワークを行ないました。

NLPとは

NLPとは・・・『コミュニケーション術を分析した実践心理学』

NLPを訳すと、「**神経言語プログラミング**」

神経＝人間の五感

言語＝コミュニケーションの手段

プログラミング＝過去の体験・経験に基づくプログラム

NLPの誕生

戦争から帰ってきた兵士、なかなか通常の状態に戻らない→治療（ケア）が必要
ある3人の治療が抜群に効果的だった。

その3人の共通点・・・「言葉と非言語」で「無意識」に患者の心にアクセスしている！
この手法を分析し、誰でも使える方法を → NLPが誕生。

NLPの基本的な考え方

『地図は現地ではない』・・・現地を地図で正確に書き表すことはできない。

→すなわち、「言葉」は「事実」を総て表現していない。

NLPは人間の脳の取扱説明書

NLPはパソコンのWINDOWSと同じ → NLPをどう使うかは、その人次第

NLP研修の進め方

- ・ ワークを楽しんでやる（楽しまないと、気づかない、頭に入らない）
- ・ 実践する（職場、家庭、仲間と共有する。まわりも変われば自分も変わる）
- ・ どう実践したかフィードバックする

NLPワーク（コミュニケーションに関するもの）

- ・ ポジティブ・リフレーミング
ネガティブな面をポジティブな面にとらえる。

理屈っぽい → 論理的。
実行力がない → じっくり考えている。リスクに敏感。計画的。
おおざっぱ → 行動力がある。決断力がある。細かいことに気にしない。

補足：言葉が同じでも、口調や表情で受け止められ方が違う
人それぞれ良い持ち味がある。それを見出すこと。

EX：いつもテストで100点近く取っている子供が30点のテストを父親に見せた
点数だけを見ると叱られるかもしれない。
だけども父親は『視点を変えて』ほめた。
「30点のテストを見せるには勇気がいただろう。その勇気が偉いことだ！」

意識的にポジティブに考える習慣をつけていると、それが無意識にできるようになる。
ほめることが全てではない。
大切なのは「自分の尺度」で測らないということ。
まず相手を理解する、相手の尺度で考えることが大切。

コーディネート・ワークの成果

自己成長研修

対象：新入社員から役員まで全社員

目的：自己の成長、モチベーションの向上

内容：まずは「プラスに考える」「自分を知る」「他人を知る」ことをNLPにて行い、自分の言動を見つめなおす。そうすることにより「人の話を聞く」ようになり、傾聴やプラス思考が身につく。最終的には「ウキウキさせる！」ことがゴール。

組織内コミュニケーション研修

対象：管理職、人事担当者

目的：上司と部下のコミュニケーション、組織内コミュニケーションを図る

内容：NLPを用いてパワーハラスメントを起こす理由を考えるとともに、部下世代の「考え方」に対する理解を持つことによって、コミュニケーションの円滑化を図る。また、「なぜ社内でのいじめが起きるのか？」についてNLPを用いながら考え、メカニズムと解決策を考えていく。

採用面接担当者研修

対象：採用面接の担当者

目的：より良い人材の確保をするため

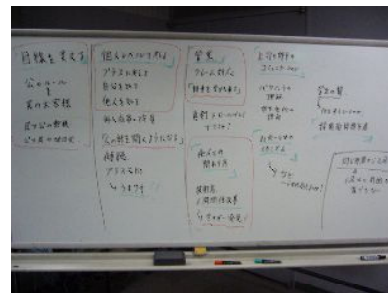
内容：新卒学生が「何を考えているのかわからない」ことがあり、特に面接では言っていることが本音なのかどうかかわからない。よりよい採用を行なうため、NLPを学ぶことにより相手を理解する技術を向上させていく。

他にも・・・

「営業のクレーム対応研修」「技術者の生きがい発見研修」「公的機関と民間の対応力研修」などの研修が考え出されていました。

NLPは非常に応用の利くものであると思いました。単に否定を肯定にするのではなく、相手のものさし（尺度）で考えるというスタンスは、特に管理職や人事担当者に必要なスキルであるように感じます。もちろん、NLPには様々なツールや用途、効果があり、今回は全てを知ることにはできませんでしたが、人材育成に幅広い可能性を感じさせてくれました。いずれにせよ、NLPを学んだというだけでなく、NLPをどう人材育成に発展させていくのかが、大切なのではないのでしょうか。
(JTCA飯島)

ワーク風景



第3回研修コーディネート・ワークショップ

テーマ：NLPを用いた人材育成 ～最強のコミュニケーションスキルの可能性を探る！～

開催日時：2008年9月17日(水) 19:00～21:00

会場：アカデミー文京学習室(文京区シビックセンター地下1階)

参加者：7名(講師除く)

インストラクター(講師) 米国NLP協会認定NLPトレーナー 宮本久男

ファシリテーター 日本研修コーディネーター協会会員 内田賢司

進行 日本研修コーディネーター協会会員 佐藤成臣

報告書作成 日本研修コーディネーター協会会員 飯島宗裕